

令和6年度進行管理・評価シート
大分市歴史的風致維持向上計画（令和元年6月12日認定）
（最終変更 令和7年3月14日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 大分市歴史的風致維持向上計画の実施体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 都市計画との連携	2
2 大分市景観計画との連携	3
3 屋外広告物条例との連携	4
4 史跡大友氏遺跡保存管理計画書との連携	5
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 大分城址公園整備・活用事業	6
2 大友氏遺跡歴史公園整備事業	7
3 重要文化財 柞原八幡宮本殿他4棟保存修理事業	8
4 国指定史跡「大分元町石仏」保存管理事業	9
5 道路美装化・修景事業(都市計画道路中島錦町線)	10
6 無電柱化・修景事業(市道府内3号線、市道府内11号線)	11
7 鉄道残存敷における歴史的風致の回遊ルート整備事業	12
8 大友氏館跡庭園整備見学ツアー	13
9 大友氏遺跡周辺史跡案内サイン設置	14
10 大友氏遺跡歴史公園庭園公開イベント	15
11 大友氏遺跡情報発信事業	16
12 大友プロモーション事業(宗麟公まつり実行委員会交付金)	17
13 地域資源活用人材育成事業	18
14 柞原八幡宮等祭礼継承基盤整備事業	19
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存と活用について	20
2 文化財の修理、周辺環境、防災に関する事業について	21
3 文化財における普及・啓発、民間団体への支援・連携に関する取組について	22
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 大分市の歴史まちづくりに関する報道	23
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 歴史的風致の情報発信と観光への活用に関する方針	24

□法定協議会におけるコメントシート(様式2)	25
-------------------------------	-----------

評価軸①-1
組織体制

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
大分市歴史的風致維持向上計画の実施体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	本計画の実施体制は、都市計画課と文化財課を中心とした庁内協議会及び、歴史まちづくり法第11条に基づいた法定協議会である大分市歴史的風致維持向上協議会を設置しており、本計画の実施、変更等に関する連絡、協議を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和6年度の進行管理における協議会の開催 令和7年5月1日開催(書面) 本計画の進行管理について説明・報告		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
大分市歴史的風致維持向上計画の策定体制 ▲大分市歴史的風致維持向上計画の策定体制		

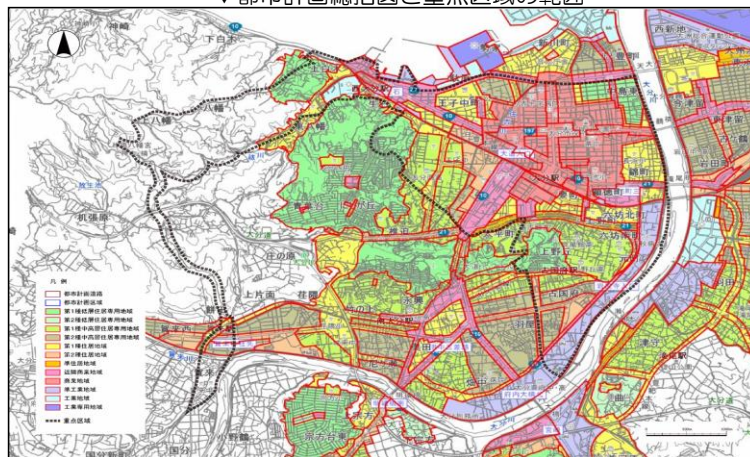
評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

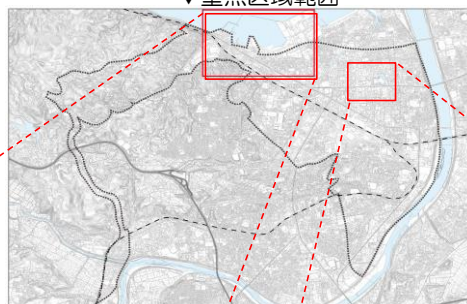
項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
都市計画との連携		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	重点区域には、用途地域の運用による良好な景観形成に加えて、建築物の用途の制限や、歴史を感じさせるまちづくりを推進するために指定した、地区計画や景観地区が含まれている。本市では、これらの運用により適切な土地利用の誘導を図っており、今後も引き続き都市計画を継続しながら良好な景観形成を推進する。		
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で			
用途地域や地区計画、景観地区に基づき、建築物や工作物等における用途や行為に関して、適正な制限および土地利用等を図り、良好な景観形成に努めた。			
○景観地区内における建築行為の認定申請			
令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）：14件			
令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）：6件			
○地区計画内における建築行為の届出			
令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）：37件			
令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）：18件			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

▼都市計画総括図と重点区域の範囲



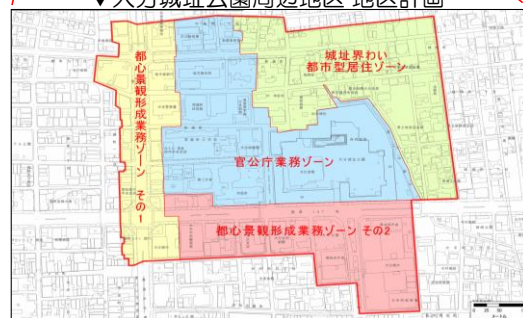
▼重点区域範囲



▼西大分港周辺地区 地区計画



▼大分城址公園周辺地区 地区計画



評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和6年度
		現在の状況

大分市景観計画との連携

☐実施済
☒実施中
☐未着手

計画に記載している内容
 「大分市景観計画」より、市全域を「景観計画区域」に指定しており、この区域内において一定規模以上の建築物の建築や土地の形質の変更など景観の保全及び形成に大きな影響を及ぼす可能性のある行為に対して、地域の景観に調和することを趣旨とし、届出・勧告により、広域的に、緩やかで、統一的な制限を行うことで、市域全域の景観コントロールを行っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大分市景観条例に基づき、規制対象の行為は届出を提出する事としている。

○景観計画区域内行為

令和4年度:届出 60 件、通知 25 件 令和5年度:届出 75 件、通知 16 件 令和6年度:届出 64 件、通知 5 件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

▼大分市景観条例に基づく届出対象行為

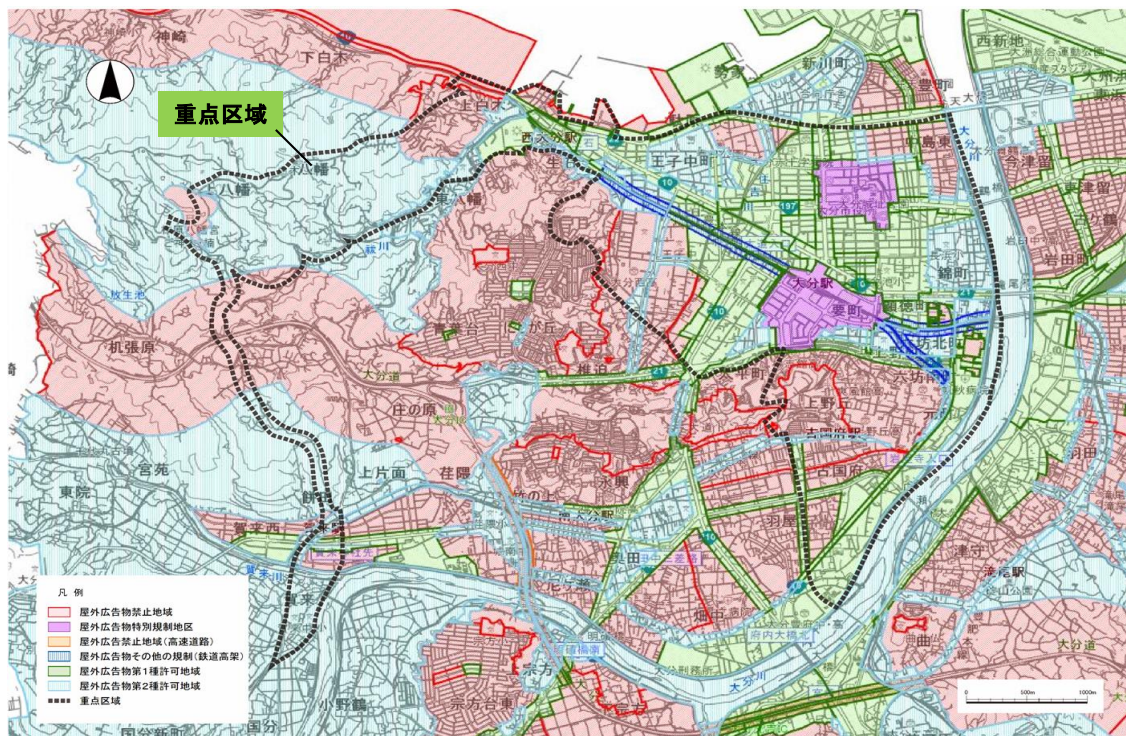
建築物の建設等	建築物の新築、増築、改築または移転、外観を変更することとなる修繕または模様替えもしくはは色彩の変更	- 市街化区域における建築行為で高さ20m以上または延床面積3,000平方メートル - 市街化区域以外における建築行為で高さ10m以上または延床面積500平方メートル 「沿道景観美化地区」で、高さが13m以上または建築面積500平方メートル以上
工作物（建造物）	工作物の建設、築造または外観を変更することとなる形状もしくはは色彩の変更 - 塔状工作物（煙突、鉄柱、木柱、電柱、物見塔、記念塔、高架水槽など） - 遊戯施設（コースター、観覧車など） - コンクリートプラントや石油・ガス・穀物・飼料を貯蔵する施設、ごみ処理施設など	- 塔上の工作物で、高さ15m（沿道景観美観地区については13m）以上 - 遊戯施設などで、高さ10m以上または築造面積500平方メートル以上 - 製造施設・貯蔵施設・処理施設などで、高さ10m以上または築造面積が500平方メートル以上 ※「色彩の変更」には、既存と同色を施す場合も含む
工作物（構造物）	工作物の建設、築造または外観を変更することとなる形状もしくはは色彩の変更 ダム、砂防ダム、水門、防波堤、護岸、棧橋、落石防護柵、遮音壁など	- 塔上の工作物で、高さ15m（沿道景観美観地区については13m）以上 - 遊戯施設などで、高さ10m以上または築造面積500平方メートル以上 - 製造施設・貯蔵施設・処理施設などで、高さ10m以上または築造面積が500平方メートル以上 ※「色彩の変更」には、既存と同色を施す場合も含む
工作物（再生可能エネルギー）	工作物の建設、築造または外観を変更することとなる形状もしくはは色彩の変更 - 風力発電施設 - 太陽光発電施設	- 風力発電施設で高さ10m以上 - 太陽光発電施設で高低差10m以上、またはパネル面積500平方メートル以上
特定照明	夜間において公衆の観覧に供するため、一定の期間継続して建築物、その他の工作物、物件の外観について行う照明	届出の対象規模となる建築物、工作物に対し行われる特定照明の新設・移設・改設・色彩等の照明方式の変更
屋外における物品の堆積	屋外における土石、廃棄物、資材、再生資源やその他の物品の堆積	- 敷地内における堆積規模の合計が500平方メートル、または堆積の高さ4m以上 「沿道景観美化地区」で、堆積規模が100平方メートル以上、または堆積の高さ2m以上
開発行為	自然景観に与える影響の大きいなどの大規模な開発行為 住宅団地開発や商業施設開発など	- 市街化区域内：届出対象外 - 市街化調整区域内：1,000平方メートル以上 - 非線引き都市計画区域内：3,000平方メートル以上 - 都市計画区域外：3,000平方メートル以上
土石類の採取	傾斜地や地肌が露出することとなるなどの景観に与える影響の大きい行為 土や砂、岩石等の採取	採取面積3,000平方メートル以上または5m以上の法面を生じるもの
その他土地の形質の変更	地肌が露出することとなるなどの景観に与える影響の大きい行為 道路整備に伴うものやグラウンド、駐車場等	採取面積3,000平方メートル以上または5m以上の法面を生じるもの
木竹の伐採	地肌が露出することとなるなどの景観に与える影響の大きい行為	皆伐のみを対象とし、全ての規模の行為
街路樹の管理	街路樹整備重点道路の街路樹のせん定、植樹、植替え、撤去	道路管理者による通知

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
屋外広告物条例との連携		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	「屋外広告法」に基づき、良好な景観の形成や風致の維持、公衆に対する危害の防止を目的として「大分市屋外広告物条例」を制定し、市内のそれぞれの地域の特性に配慮しながら、安全で美しいまちづくりを目指している。重点区域内では特定地域（特別規制地区）、禁止地域、許可地域が混在しているが、区域内で一体的な景観形成が必要なエリアについては、特定地域の指定など「大分市屋外広告物条例」と連携し、重点区域内の歴史的風致の維持向上を図る。		
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で			
大分市屋外広告物条例に基づき屋外広告物の設置については、地域の特性を配慮しながらエリア区分による、制限を行っている。 また、屋外広告物設置の際には許可申請書を提出する事としており、景観形成に影響が出ないか確認を行った。 ○屋外広告物許可申請 令和4年度:新規 172件、更新 667件、変更 17件			

状況を示す写真や資料等



▲屋外広告物条例指定区域と重点区域の範囲

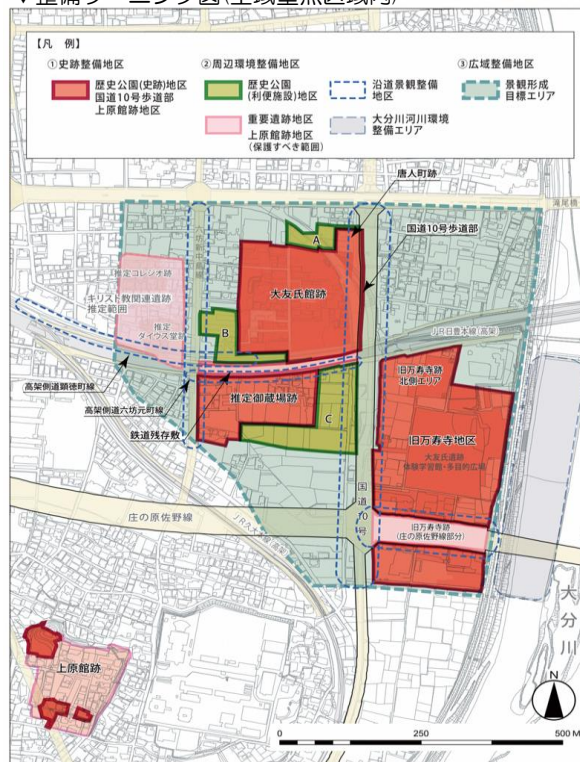
評価軸②-4

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
史跡大友氏遺跡保存管理計画書との連携		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	史跡大友氏遺跡の適切な保全・活用を行い、その価値を次世代へ継承することを目的とし、保存管理を実行するための長期的な指針として、「史跡大友氏遺跡保存管理計画書」を平成26年(2014)に策定した。 「保存管理計画」において「保存管理の基本方針」として「史跡地内外の地形地割・歴史的景観を踏まえた景観保存・形成を推進する。」を掲げており、歴史的風致と一体的なまちなみづくりを行い、また「整備基本構想」において周辺沿道や周辺地区を史跡と調和した景観形成を図るエリアとしていることから、これに合致したまちづくりを推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
大友氏館跡歴史公園整備に向けて、「史跡大友氏遺跡整備基本計画令和5年度改訂版」を策定し、景観形成計画についても、更新した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		景観形成等の方針を検討するにあたり、引き続き地元住民の景観に対して機運の醸成が必要である。	
状況を示す写真や資料等			

状況を示す写真や資料等

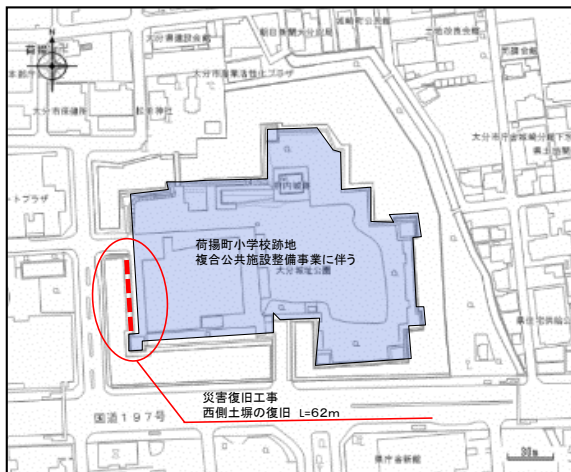
▼整備ゾーニング図(全域重点区域内)

史跡大友氏遺跡整備検討委員会による
基本計画改訂版の審議状況

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

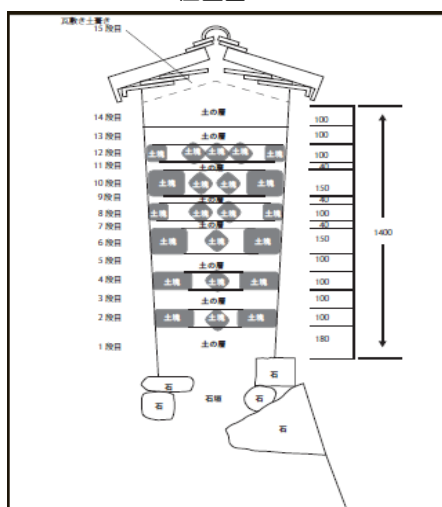
項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
大分城址公園整備・活用事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成29年度～平成30年度)、市単独費都市構造再編集集中支援事業(令和2年度～令和5年度)		
計画に記載している内容	県指定・市指定史跡府内城跡である大分城址公園において、「大分城址公園整備・活用基本計画」に基づき修景整備を行う。整備にあたっては景観に配慮した質の高い都市空間を整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○ 令和5年6月30日から7月5日の大雨により被災した、大分城址公園西側土塀の災害復旧工事施工中 西側土塀 L=62m (令和6年3月～令和8年3月)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐計画どおり進捗している ☒計画どおり進捗していない		令和2年5月にPCR用検体採取場を公園内に設置し、関係者以外の公園内への立入を禁止する措置を講じ、令和4年5月からは、荷揚町小学校跡地複合公共施設整備事業に伴う臨時駐車場として利用していることから、整備に先立って行う発掘調査のスケジュールに遅れをきたしている。今後のスケジュールについて検討したい。	
状況を示す写真や資料等			



▲位置図



▲被災状況



▲復旧土塀断面図

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
大友氏遺跡歴史公園整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成28年度～令和10年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業、大分県文化財保存事業費補助金、市単独費		
計画に記載している内容	歴史文化観光拠点に位置付けられている大友氏遺跡歴史公園の整備を進めるため、大友氏館跡庭園の復元整備、建物や塀などの立体復元整備、遺構の地上表示、学習交流施設の整備を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
大友氏遺跡歴史公園基盤整備に係る公有化事業(6400㎡) 大友氏遺跡確認調査(令和5年度) 調査面積6000㎡ 大友氏館跡建造物等復元検討委員会 4回実施			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		今後、建物や塀などの立体復元整備を進めていくとともに、歴史公園内の基盤の整備を進めていく。	
状況を示す写真や資料等			
大友氏遺跡(旧万寿寺地区)一部公有化  旧万寿寺地区(南より)		大友氏遺跡現場見学会  開催状況 (開催日: 令和6年10月26日 参加者: 136名)	
発掘調査  発掘調査区空中写真(上が北)		発掘調査  調査状況(かわらけの出土状況)	
建造物等復元検討委員会  大友氏館跡建造物等復元検討委員会の状況 開催日: 令和6年5月・8月・12月・3月			

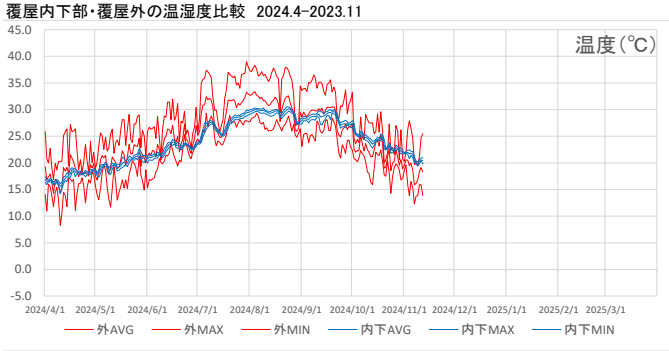
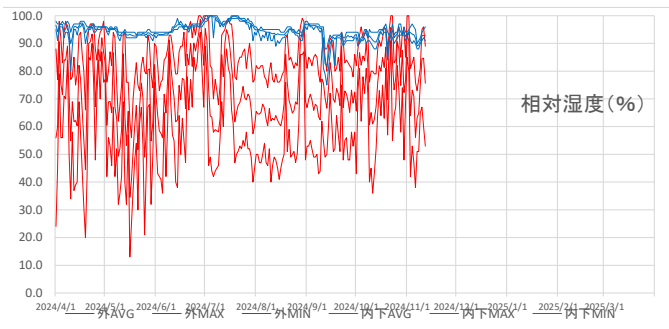
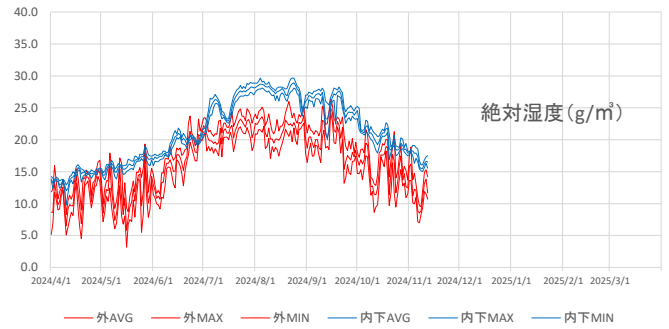
評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
重要文化財 柞原八幡宮本殿他4棟保存修理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和7年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業、大分県文化財保存事業費補助金、市単独費		
計画に記載している内容	重要文化財に指定された本殿他4棟の保存修理などを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化庁補助事業にて以下の保存修理を予定している。 重要文化財(建造物) ・柞原八幡宮本殿・東宝殿(ひがしほうでん)・西宝殿(にしほうでん)・附(つけたり)宝蔵(解体修理) ・附(つけたり)八王子社(部分修理) ○過年度実績:東宝殿解体、西宝殿解体、仮設物設置、仮設屋根等設置 ○令和6年度実績 ・本殿:木工事、屋根工事、塗装工事・東西宝殿:木工事 ・附 八王子社:木工事、屋根工事			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		神社側からの要望により2期工事(申殿・拝殿・楼門・東回廊・西回廊・西門・南大門)について、令和8年度から調査工事を始めることとなる。 状況を示す写真や資料等	
 ▲本殿 屋根工事 銅板平葺状況   ▲本殿 塗装工事 柱巻下げ 平彩色状況  ▲西宝殿 木工事 梁、桁組立状況  ▲八王子社 木工事 野地板組立状況			

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
国指定史跡「大分町石仏」保存管理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独費		
計画に記載している内容	国の指定史跡大分町石仏は、平安時代後期に造られた磨崖仏(まがいぶつ)である。現在、塩害などにより風化していることから、効果的な脱塩方法を検討し、石仏の風化を早期に抑止して安定化を図りながら整備状況の公開と情報発信を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○令和3年度は経過観察を主体として、環境観測と目視観察を実施した。 また、後背地の植生管理のため、樹木剪定を2月末に実施した。 ○令和4年度も引き続き、経過観察を主体として、環境観測と目視観察を実施した。 ○令和5年度は、経過観察を主体とした環境観測と目視観察を実施に加え3年ぶりとなる和紙による脱塩を実施し、浸透圧を利用した脱塩手法の検討に関する現地試験を実施した。 ○令和6年度は浸透圧を利用した脱塩手法の検討に関する現地試験を継続、経過観察及び環境観測と目視観察を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	パルプ材による脱塩手法を検討を継続、覆屋内の環境は安定している。		
状況を示す写真や資料等			
			
温湿度計測状況			
			
現地試験状況		状況写真	
		覆屋内外環境比較 青覆屋内 赤外	

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
道路美装化・修景事業(都市計画道路中島錦町線)		■実施済 □実施中 □未着手	
事業期間	平成29年度～令和元年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成29年度～令和元年度)		
計画に記載している内容	大友氏館正門の前を通る歴史的な道と重なる位置にある当該道路について、歩道の美装化、樹木の配置など修景整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○平成30年度～令和元年度:歩道修景整備(A=5296㎡)終了 ○令和2年度:植栽工事(A=673㎡、高木48本)終了 ○令和2年度:ポケットパーク修景整備工事(A=923㎡)終了			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	完成		
状況を示す写真や資料等			

▼着工前



▼完成



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
無電柱化・修景事業(市道府内3号線・市道府内11号線)			☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和元年度～令和5年度		
支援事業名	防災・安全交付金(道路事業)(令和元年度～令和4年度) 都市構造再編集集中支援事業(令和2年度～令和5年度)、無電柱化推進計画事業(令和3年度～令和5年度) 市単独費		
計画に記載している内容	歴史的風致の概ね中心に位置しており、点在する歴史的建造物を結ぶ市道府内3号線及び市道府内11号線の無電柱化及び修景整備、照明灯設置を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○無電柱事業(計画延長 L=530m) 【令和3年度末時点実績】L=470m 【令和4年度末時点実績】計画期間累計 L=530m/計画 L=530m (実施済)			
○修景事業(計画延長 L=530m) 【令和4年度までの実績】L=410m 【令和5年度実績】L=120m/計画 L=120m (計画期間累計) L=530m/計画 L=530m			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	中心市街の工事であることから、沿線店舗等との調整に時間がかかり、事業進捗に遅れが発生していたが、計画調整により令和5年度で完成となった。		
状況を示す写真や資料等			
 ▲着工前  ▲施工中  ▲完成			

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
			現在の状況
鉄道残存敷における歴史的風致の回遊ルート整備事業			☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度～令和6年度		
支援事業名	社会的資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和元年度) 都市構造再編集集中支援事業(令和2年度～令和6年度) 市単独費		
計画に記載している内容	大分駅付近連続立体交差事業により生み出された鉄道残存敷において、都心南北軸と東西軸を中心とした中心市街地の回遊性を目的に、周辺施設と連携し整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○日豊本線東側(L=800m): 令和元年度に整備が完了し、供用開始済み。大友氏遺跡歴史公園までの新たなアクセスルートとして整備されたことにより、当該施設へのアクセスのみならず、中心市街地の回遊性向上に寄与した。 (2020年アジア都市景観賞、2021年度グッドデザイン賞を受賞) ○日豊本線西側(L=1,200m): 基本設計及び詳細設計が完了し、令和3年度に整備工事に着手し、令和6年度にD区間およびE区間の一部の整備を行い、令和6年度末に完成した。 ○久大本線(L=300m): 令和2年度に整備工事を実施し、完了した。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	なし		
状況を示す写真や資料等			

○日豊本線東側



○日豊本線西側

整備完了写真



○久大本線



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
大友氏館跡庭園整備見学ツアー		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和元年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和元年度)、市単独費		
計画に記載している内容	大友氏遺跡歴史公園内(大友氏館跡)に設置している「南蛮BVNGO交流館」を拠点として、整備中である大友氏館跡庭園の見学や大友氏館内のガイドイベントを開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○令和元年度実績 ・大友氏遺跡フェスタ2019実施(参加者571人) ・南蛮BVNGO交流館6・8・12月イベント(延べ463人) 今後も「大友氏館跡」の整備状況の見学会を通して、市民や来訪者の方々に大友氏の歴史に関して周知を行い、歴史の認識向上を図りたい。			
		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	完了		
状況を示す写真や資料等			



▲大友氏遺跡フェスタ ポスター



▲大友氏遺跡フェスタ 状況写真①



▲大友氏遺跡フェスタ 状況写真②



▲大友氏遺跡フェスタ 状況写真③

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
大友氏遺跡周辺史跡案内サイン設置		■実施済 ☐実施中 ☐未着手	
事業期間	平成30年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和元年度) 都市構造再編集集中支援事業(令和2年度)		
計画に記載している内容	大友氏遺跡歴史公園周辺を中心に、周辺道路沿い及び大友氏遺跡に関連する地点に案内板や道路案内サインを設置する。また、大友氏遺跡およびその周辺に、大型の遺跡説明サインを設け、大友氏遺跡及びその周辺の歴史文化資源に関する情報を発信する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○平成30年度:道路案内サイン 1基設置 ○令和元年度:道路案内サイン 4基設置 大友氏遺跡説明サイン 2基設置 ○令和2年度:大友氏遺跡説明サイン 5基設置 サインの作成にあたっては、周囲の景観や大友氏のイメージに配慮しながら分かりやすいデザインで作成し、歴史文化資源の情報発信に寄与することができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		完成	

状況を示す写真や資料等



▲大友氏遺跡説明サイン(大友氏遺跡・上原館跡)



▲サイン拡大



▲大友氏遺跡説明サイン(大友氏遺跡・旧万寿寺地区)



▲サイン拡大



▲道路案内サイン(大型・単柱)

▼サイン一覧

設置年度	サインの種類	所在地	備考
平成30年度	道路案内サイン	大分市顕徳町3丁目	国道
令和元年度	道路案内サイン(大型・単柱)	大分市顕徳町3丁目	市道
	道路案内サイン(共架)	大分市錦町3丁目	国道
	道路案内サイン(共架)	大分市大坊北町	県道
	道路案内サイン(共架)	大分市錦町2丁目	市道
	大友氏遺跡説明サイン	大分市大字大分	大友氏遺跡・旧万寿寺地区内
	大友氏遺跡説明サイン	大分市上野丘	大友氏遺跡・上原館跡内
令和2年度	大友氏遺跡説明サイン	大分市顕徳町3丁目	大友氏遺跡・大友氏館跡
	大友氏遺跡周辺遺跡説明サイン	大分市錦町2丁目	称名寺跡・唐人町跡
	大友氏遺跡周辺遺跡説明サイン	大分市錦町2丁目	稲荷町跡
	大友氏遺跡周辺遺跡説明サイン	大分市錦町1丁目	小笠原町跡・南小路町跡
	大友氏遺跡周辺遺跡説明サイン	大分市長浜町2丁目	今在家町跡・稲荷町跡

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
大友氏遺跡歴史公園庭園公開イベント		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和2年度～令和7年度		
支援事業名	都市構造再編集集中支援事業(令和2年度～令和7年度)、市単独費		
計画に記載している内容	整備を進めている大友氏遺跡の庭園が完成する時期にあわせて、仮設の舞台などを設置し、庭園完成のイベントを実施する。 庭園完成時(令和2年度)のみイベントを予定していたが、完成後も周知を図るために事業期間を延長し、令和7年までイベントを実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○令和3年度:第20回大友氏遺跡フェスタ(R3.10.30・31)を実施した。(2日間の来場者2,571人) ○令和4年度:第21回大友氏遺跡フェスタ(R4.10.29・30)を実施した。(2日間の来場者5,036人) ○令和5年度:第22回大友氏遺跡フェスタ(R5.10.28・29)を実施した。(2日間の来場者4,754人) ○令和6年度:第22回大友氏遺跡フェスタ(R6.10.26)を実施した。(来場者1,920人) ※R6年度より一日開催とした			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	地元への周知及び協力依頼を行い実施した。今後も大友氏館跡庭園を活用したイベントを実施し、大友氏館跡や大友氏遺跡の歴史文化の周知に努めたい。		
状況を示す写真や資料等			
 野点茶会  ジュニアガイドによるガイド  ミニ歴史講座  豊後しぼり体験  くずし字ペンダントづくり  明るさ(火打ち石)体験  遺跡現地説明会  遺物展示コーナー  どこでもコンサート			

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
大友氏遺跡情報発信事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独費		
計画に記載している内容	大友氏遺跡は、平成13(2001)年度に国指定史跡となり、現在も発掘調査が進められている。戦国時代に府内を国際貿易都市として発展させた大友宗麟公を本市の新たな「顔」としてPRし、遺跡の価値や魅力を市民に広く知っていただくため、歴史講座や体験イベント、パンフレットの発行など、様々な情報発信事業を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
大友氏遺跡(大友氏館跡)に設置する大友氏と大友氏遺跡に関する仮ガイダンス施設「南蛮BVNGO交流館」を中心に各種イベントや情報発信を行っている。来館者目標を年12,000人に設定し、令和6年度は16,933人と目標を達成している。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		今後も南蛮BVNGO交流館でのイベントや講座により、大友宗麟公や大友氏遺跡の魅力についてPRし、住民の歴史文化に対する関心の向上に努めたい。	
状況を示す写真や資料等			

令和6年度

月 日	イベント名
5月18日	FUNAIジュニアガイドと見つけよう！歴史発見シールラリー
6月1日～	交流館のすみっこ展(2カ月毎の展示)、パスポートの配布
7月27日	第7回FUNAIジュニア検定
9月16日	2024大友館の名月祝い
10月26日	第23回大友氏遺跡フェスタ
11月30日	府内古図でまちあるきツアー2024
12月1日	
12月15日	鉄砲納め「納射会」
1月5日～31日	新春大友みくじ
2月9日	大友館のおもてなし「大おもて会」

南蛮BVNGO交流館来館者数

令和元年度	13,921 人
令和2年度	17,047 人
令和3年度	14,563 人
令和4年度	17,752 人
令和5年度	19,488 人
令和6年度	16,933 人



歴史発見シールラリー



すみっこ展パスポート



大友館の名月祝い



まちあるきツアー



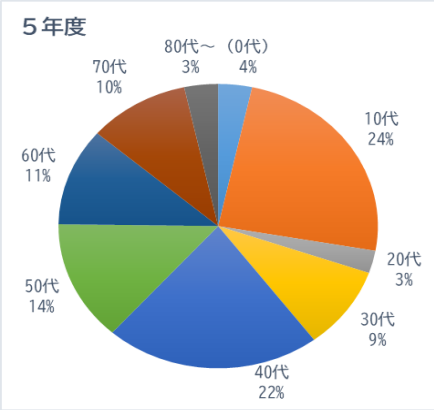
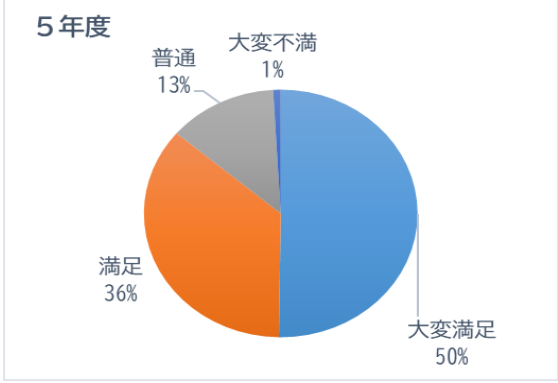
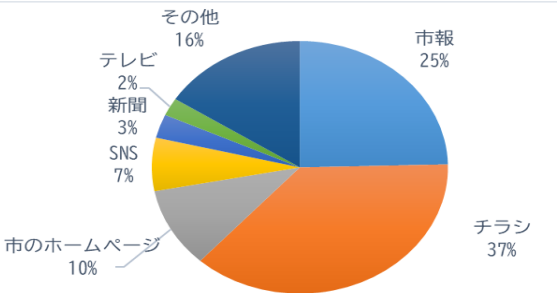
火縄銃公開演武(納射会)



新春大友みくじ

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
大友プロモーション事業(宗麟公まつり実行委員会交付金)		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和5年度		
支援事業名	市単独費		
計画に記載している内容	大友氏遺跡と関連のある「大友宗麟公」を大分市民の誇りとして確立するとともに、本市の新たな「顔」として全国に情報発信していくイベントを開催するための実行委員会の設立及び交付金の支出や宗麟公まつりの企画・運営などを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○平成30年度参加者数: 44,280人 ○令和元年度参加者数: 58,651人 ○令和2年度: 国内外における新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベントを中止 ○令和3年度参加者数: 2,571人 ※令和3年度より会場を大分駅前府内中央口広場から大友氏館跡に変更 ○令和4年度参加者数: 5,036人 ○令和5年度参加者数: 4,754人			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		大友宗麟の生誕500年に向けた整備が進む大友氏遺跡を拠点に、歴史的、文化的な側面をはじめとした宗麟公をより深く知ってもらう情報発信に注力することとし、賑わいのイベントである「宗麟公まつり」を見直し、アカデミックな観点で開催する「大友氏遺跡フェスタ」を継続していくこととした。	
状況を示す写真や資料等			
▼令和5年度 「宗麟公まつり」状況写真(大友氏遺跡) 			
5年度  5年度  ▲令和5年度 「宗麟公まつり」会場アンケート結果 			

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
			現在の状況
地域資源活用人材育成事業			☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成30年度～令和元年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和元年度)、市単独費		
計画に記載している内容	歴史を活かしたまちづくりを地域に定着させるため、地域資源の魅力を自ら発信する人材となる遺跡案内ガイドを募集・養成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度にて事業完了。 大友氏遺跡にて、遺跡案内ガイド育成した。 ○平成30年度は10名を遺跡案内ガイドとして育成した後に登録した。 ○令和元年度は7名を遺跡案内ガイドとして育成した後に登録した。 これからも大友氏遺跡や南蛮BVNGO交流館にてガイドや研修を行い、人材の育成及び地域資源の魅力発信に努める。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	令和元年度以降も情報発信を行う事業と連携してガイドの知識および技術の向上に努める。		
状況を示す写真や資料等			



▲大友氏遺跡、交流館のガイド状況



▲研修状況

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
		現在の状況

柞原八幡宮等祭礼継承基盤整備事業

☐実施済
☒実施中
☐未着手

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 市単独費(大分市文化財保存事業、おおいた地域伝統文化応援事業)

計画に記載している内容 柞原八幡宮に関わる「浜の市」や「賀来の市」などの諸祭礼の構成要素である「供奉太鼓」をはじめとする無形民俗文化財の保存・継承を図るため、それらの保存団体や活動団体などが用具の整備を実施する場合に支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大分市文化財保存事業:主に指定文化財の整備を図る事業の支援(令和10年度までに3件の見込み)
 おおいた地域伝統文化応援事業:「浜の市」「賀来の市」に係る保存団体の活動支援(令和10年度までに4件の見込み)
 ○令和元年度実績 1件実施済(太鼓の修理)
 ○令和2年度～令和6年度 実績 0件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

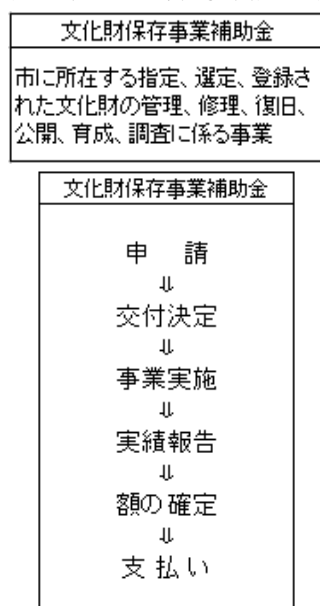
☐計画どおり進捗している
☒計画どおり進捗していない

令和6年度には相談は2件あったものの、残念ながら申請には至らなかったが、引き続き各活動団体に補助金・助成金事業の説明を行っていく。浜の市では祭礼の保存・継承のため地区単位だった各活動団体が「連合会」を結成する取組を進めており、今後連合会に対して補助金・助成金事業の説明を積極的に行う必要がある。

状況を示す写真や資料等

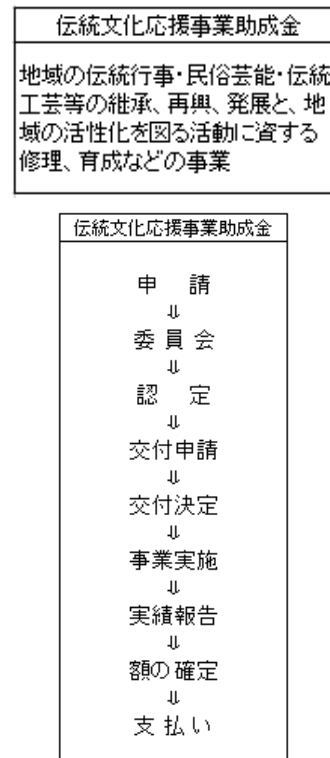
▼フロー

(大分市文化財保存事業補助金)



▼フロー

(おおいた地域伝統文化応援事業助成金)



▼保存団体、支援件数

支援団体	R1 件数	R2 件数	R3 件数	R4 件数	R5 件数	R6 件数
市指定「柞原太鼓」保存会	0	0	0	0	0	0
「浜の市」主催団体	0	0	0	0	0	0
「浜の市」活動団体	1	0	0	0	0	0
「賀来の市」主催団体	0	0	0	0	0	0
「賀来の市」活動団体	0	0	0	0	0	0
その他活動団体	0	0	0	0	0	0

評価軸④-1
文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
文化財の保存と活用について		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	指定文化財などは、文化財保護法、大分県文化財保護条例、大分市文化財保護条例の他、関連法令に基づき、これまで保護のための措置が講じられており、今後も引き続き保護を図る。 未指定の文化財については、文化財の指定・登録が進むよう、大学などの研究機関と連携し、歴史的建造物などに関する調査の推進や成果の共有を図るとともに、その価値が認められたものについては、文化財指定・登録制度を活用し、計画的に修理や整備、また防災対策などを実施する。		
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度の指定文化財件数については、国指定文化財が27件、国登録の有形文化財及び記念物が38件、県指定文化財が75件、市指定の文化財が87件の合計227件であり、今後、市登録文化財候補2件を文化財保護審議会で審議する予定である。今後も法令等に基づいた適正な文化財の追加および保護を続ける。			
進捗状況※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		刀剣等の有形文化財の所有者や所在について、定期的に所在調査を行い、現状を把握し、適切な管理ができるよう支援に努める。	

状況を示す写真や資料等



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
文化財の修理、周辺環境、防災に関する事業について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	文化財の修理は日常的な維持管理における予防措置や、毀損の早期把握が重要であるため、所有者などによる適切な維持管理と日常的な点検により損傷の早期発見に努めるとともに、所有者などの意思向上のための適切な助言を実施する。 文化財周辺の環境や景観を阻害する要素が見られる場合には、所有者や管理者と協議のうえで改善を講じる。 文化財防火デー(1月26日)には最寄りの消防署や地元消防団、自主防災組織と連携し、文化財施設での消火訓練などを実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度の文化財の修理に関して、県指定1件、市指定1件の保存修理を行った。この内、県指定史跡府内城跡西側土塀の修理は災害復旧工事となる。 文化財防火デーの取り組みは、令和7年1月23日に県指定史跡府内城跡で行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		文化財の修理に関して、伝統技法による修理となるが、今後こうした技術の継承と保存が課題となる。	
状況を示す写真や資料等			
  ▲市指定有形文化財帆足本家酒造蔵 外壁等修理状況			
 ▲県指定史跡府内城跡西側土塀災害復旧工事			
  ▲県指定史跡府内城跡西側土塀災害復旧工事 解体状況 ▲県指定史跡府内城跡西側土塀災害復旧工事 土塀基礎検出状況			
令和6年度指定文化財修理状況			

評価軸④-3

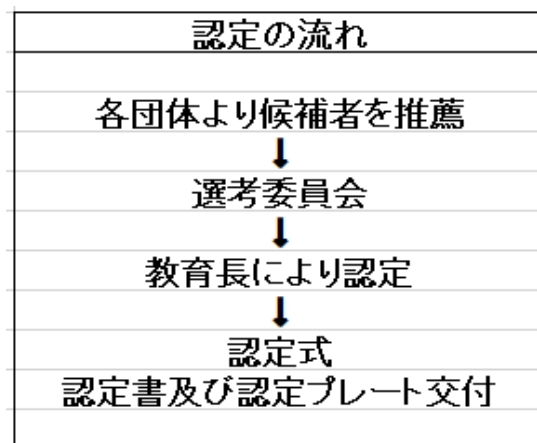
文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
文化財における普及・啓発、民間団体への支援・連携に関する取組について		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	文化財マップの作成や文化財情報のホームページ掲載など、様々な情報媒体を活用する。 また、学校教育では、小・中学校を対象に大友氏に関する副読本を活用した授業の開催や地区公民館などで行う生涯学習、大分市歴史資料館による企画展示や講座などを通して歴史や文化を学ぶ機会を創出する。 本市における文化財の保存や活用に取り組んでいる団体の多様な活動の継続と活性化のために、情報提供や人材育成、ガイドの育成などを支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伝統芸能の伝承者の功績を讃え伝承者を育成して地域の活性化に資することを目的として令和元年度に伝統芸能伝承師認定制度を設け、令和6年度時点で4団体の16名を認定。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		伝統芸能伝承師は、制度の趣旨を各団体に充分周知して積極的に認定を進める必要がある。 また、認定者を増やすためには制度を適用する対象団体を増やす必要があることから、市指定無形民俗文化財の新たな指定を進めることも併せて必要である。	
状況を示す写真や資料等			

大分市伝統芸能伝承師認定制度

大分市指定無形民俗文化財に指定された伝統芸能の継承活動に従事し、高度の伝統的技術・技法を保持する指導者を伝統芸能伝承師に認定し、その功績を讃えるとともに伝統芸能の伝承者を育成し、もって地域の活性化に資することを目的とする。
(大分市伝統芸能伝承師認定要綱第1条)

▼フロー



▼認定プレート



評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和6年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
大友氏館跡から「ペロニカのメダイ」が出土 国内2例目	令和6年10月	大分合同新聞	
「ヴェロニカのメダイ」出土 大友氏館跡から国内2例目	令和6年10月	朝日新聞	
大友氏館跡から「ヴェロニカのメダイ」発掘 16世紀末頃のものか 国内2例目	令和6年10月	OBS	
「ヴェロニカのメダイ」が大友氏館跡で発見 国内2例目	令和6年11月	NHK	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大友氏遺跡関連の記事:4件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

著作権関係により新聞記事の掲載はなし

評価軸⑥-1
その他(効果等)

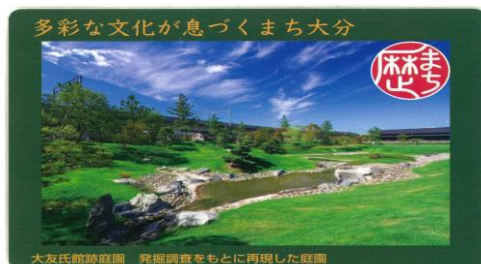
項目		評価対象年度	令和6年度
歴史的風致の情報発信と観光への活用に関する方針			
計画に記載している内容	歴史的風致を将来にわたって継承するには現在ある位置やその価値について市民や来訪者の認識を向上させる必要がある。そのため、歴史的風致に関するマップの作成、まち歩き又はサイクリングロードの設定、ガイドの育成、ホームページやSNSなどを通じた情報発信などにより市民や来訪者の歴史的風致への認識の向上や周遊の促進を図り、観光面にも積極的に活用する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
○Instagramに記事を投稿 (九州管内の歴まち認定都市が情報発信できるよう、国土交通省九州地方整備局が令和3年11月にInstagramのアカウントを開設) 令和3年度:5本 令和4年度:4本 令和5年度:6本 令和6年度:9本 ○歴史まちづくりカード配布状況 【杵原八幡宮(初版)(第2版)、大友氏館跡庭園】 令和3年度:1282枚 【杵原八幡宮(第2版)、大友氏館跡庭園】 令和4年度:2595枚 令和5年度:1579枚 令和6年度:1380枚			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし			

状況を示す写真や資料等

▼杵原八幡宮(第2版)



▼大友氏館跡庭園



▼Instagram記事



▼配布状況

	年度	杵原八幡宮		大友氏館跡庭園	合計
		初版	第2版	初版	
配布枚数	R2	7,149			7,149
	R3	614	575	93	1282
	R4		2,425	170	2595
	R5		1,427	152	1579
	R6		1,130	250	1380
	合計	7,763	5,557	665	13,985

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和6年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:	
会議等の開催日時:	
(コメントの概要) 令和6年度の進行管理における協議会(令和7年度 第1回 大分市歴史的風致維持向上協議会)を 書面開催したが、特に意見等はなし。 (令和7年5月1日付で資料発送)	
(今後の対応方針)	